（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）　（月曜休刊）　明治四十三年三月十八日（金曜日）　第三百六十號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行金二十五錢▲一號活字十七字詰一行一圓▲五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六二）

發行所　京城新報社

韓國と新教育

韓國官公立普通學校に於ける生徒數は一萬〇〇八十九人の現在にして其他私立學校生徒多數あるべけんも之を日本の就學兒童數百人に對する九十九人に比すれば其割合は到底論ずるに足らざるべし元來日本の今日あるもの決して一朝一夕の所以にあらずして維新以來數年の發達を經たる結果なり然るに日本人の眼に映ずる韓國は日本の現状の實施を以て比較し毫も歴史的經過に注意せざるの傾向ある爲め兎角空論放言の譏を免れず故に韓國に於ても漸次新教育の必要を感ずる韓國教育施行の實施に達するには尚ほ幾十年の歳月を要すべく而して現在は僅かに新教育の曙光を認したるのみなりと云ふ

韓國棉花栽培の選擇

去る十一日紡績聯合會委員會に於て更に研究すべく宿題となりたる米國加州のインペリアル、ヴアレーを借受け棉花栽培地を開拓するの可否は外務省との關係もあり又韓國に於て棉作地を開墾する利害と比較研究するの必要もあり旁紡績聯合會にては庄司書記長を主任として調査に着手せしめたるが聞く所によればインペリアル、ヴアレーの地一エーカーの借地料は邦貨七圓に相當し一エーカーの棉花收穫高先づ二俵見當と見積れば同地十萬エーカーの總收穫高廿萬俵に達し優に本邦の米棉需要額一箇年分（十五万俵乃至廿萬俵）を支ふるを得べしと而して棉花栽培上に於ける勞働者需給の繁閑は小麥の栽培と相挾て互に融通するを得又棉花の販賣も紐育市場と相通ずるを得べきも茲に先決問題となりたるは前記の如く韓國開拓との得失比較是れなり目下韓國木浦附近熱地の借地料は一エーカー五圓乃至十四五圓を唱へ未開の棉花栽地は米國の借地料と略同格の價格なるを以て何れが果して利益なるかは精密なる調査後ならでは勿論知り難きも單に國情の上より云へば無論韓國の開拓を以て利益なりとするの意見多數を占め又韓國棉花會社の如きも同見界を以て聯合會に慫慂せんとしつゝあるものゝ如しと大觀は報せり

雜報

●米國艦隊所轄區域

米國海軍省は亞細亞艦隊新設の結果其各艦隊の所轄區域を左の如く制定せり
△大西洋艦隊　東經二十度より西經七十度十分に至る南北大西洋
△亞細亞艦隊　印度洋及び東經二十度より百八十度の間に於て北緯零度より五十度に至る間（但しベーリング海を除く）
△太平洋艦隊　亞細亞艦隊の所轄區域を除きたる太平洋全部及びベーリング海

●日英博と輸送成績

日英博覽會出品協會に於て取扱たる出品物は前後七回の便船にて全部輸送済となりたるが其積出總計は二千百十餘噸量千七十八噸此原價四十四萬八千九百六十四圓にして内譯左の如し

一自營出品物　二百二十六箱百十六噸半原價五萬四千五十九圓
一普通出品物　千六百九十九箱七百三十七噸原價卅八万五百七十二圓
一陳列材料　百八十五箱二百二十四噸半原價一万四千三百二十二圓

地方通信

▲平壤通信

▲平南線の運轉開始期　平南線工事は本年八月を以て全部竣工し其の他線路の敷設等萬端の設備は本年中に完成すべき豫定なれば列車の運轉開始は來春匆々行ふ筈なりと而して鎭南浦に於ける停車場は同港將來の發展上に關する事なれば相當の完備せるものを建設せんと協議一決し愈々來る四月一日より之れが工事に着手する筈なりと

▲道路改修工事狀況　平壤、鎭南浦間の新道路工程は全部を二十五區に別ち内十五區まで六里半の間は平壤の管轄に屬する大同江右岸より一里中間に於ては萩橋附近半里太平洞附近に於て約三里は既に竣工したるが新興洞廣灘洞間は鐵道の布設さるゝ事となりたれば場所を變更する事となり目下交渉中なるが今猶未定なり而して本年に入りては三月一日より既に工事に着手したるも未だ地下の解氷せざれば充分に仕事する能はず故に當分は晋に材料の運搬岩石の掘鑿等從事する筈なりと尚從前の平南道路は全長十五里と定められだるが新道路は其の勾配の關係より少しく距離も短縮せられ道巾七メートルにて十三里半の工程なり而して最も急斜なる地點は三十分の一にして勾配は曾つて平南電氣鐵道敷設の計畫ありたる時は六十分の一となすべき設計ありたるが今回は大に勾配の點に改善を施したるものにて最早竣工期も切迫したれば愈々四月一日頃よりは全力を傾注して九月末日までには土工を了り豫定期日までには是非共竣工せしむる筈なりと云ふ（十五日）

文苑

▲女性の四季　甘群鐵人

◎夏

まばゆき迄に美しく
　飾り着せし家の内
晴れぬ心は何事ぞ
　思に沈む少女あり
巳れを取り巻き美しく
　古きに誇る寶物や
油繪さへもなかく\/に
　たまる思解き棄て
あゝと彼の女は叫たり
　東の間忘れぬ我が願
いつか屆きて嬉しやな
　妾ぞ今宵の花嫁と
したへる君の傍に
　そうべき事の得るなれば
わが身の幸や如何にぞや

日本銘刀傳

第六十九席　邑井一講演

そこで祐眞は久し振りで、祐行に遇つたので　眞「アー祐行無事で居つたか」行「廣貴君も御機嫌宜うございましたか、光祐實も是れは知らない　行「兎もあれ貴方方は當家へ今晩はれ泊りなすつて宜うれ入來下すつてサア此方へれ上り下さい　兩人「ハア難有たうございます　眞「や祐行此度尋ねたのは、ナト其の方に相談がある、是れで親切に楢澤村と云ふ處から、送つて與れたのは　行「ハア左樣でございますか……貴方樣はれ初でございますか、誠に御苦勞でございます　孫「何う致しまして、私等と て心配致しやしたが、漸やく此處で安心を致しやした　行「シテれ師匠樣、此の節何う云ふ御用あつて、れ出來になりました　眞「や實はれ前に相談をしなければ成らないと云ふのは、ヤ緩くりれ話さう、夫れから祐行の女房が出て挨まふ、此方は絶て久しき對面にて　行「れ師匠樣、度々伺がうべきも、遂遠路のことゆゑに、御無沙汰致して居りました、此の程何となく、師匠樣に逢ひたく思ひ居りまする處へ、れ尋ね下し置かれ、此の上もなき喜びでござります　眞「ヤ私も如何致して居るかと、案じ煩らい居つたが、斯うして無事にやつて居て與れゝば此の上もない喜びだ、扨て未だ其の方へは披露をしないが、是れが今度祐實の名前を讓つた悴だ、行「ア左樣で……結構なことでござい ます　眞「此れに段々話しもある、普通尋常で祐實を贈つたものではない就てして、力を借りて三郎長義を生捕りたいと思ふのだ、詰らなく此方が身を果すやうなことがあつてはならんから、其方に尋ねるのだが何うぢや　行「成程ウーン、夫りや棄いてとで……其の三郎と云ふ奴は、信濃路に聞ゐる惡漢に相成つて居ります、れ待ち下さいまし よ宜しうございます、私が此の土地に天狗の藤太と云ふ、義侠に富んだものがございます、是れは駒ケ嶽の山中に天狗に往き遇ひまして、天狗の羽がひを切り落したと云ふ強者で、人呼んで天狗の藤太と言つて豪い、何うも力量もあり、弱を助け強を挫かうと云ふ人

掛を致して、湯を沸して五人の者を入れました、此の孫兵衛祐助の兩人は、御飯を御馳走になつて疲れて居ります から、座敷へ案内をして寢かして貰つた



は此の祐實の父祐廣ごりや、其の方も心得て居る、十七年以前に御番鍛冶のために京都へ上るとき、大淮坊作慶の甥三郎長義のために、父は水口の手前の市場村に於いて、此の祐實を殺ろそうと云ふのを間違れて祐廣を殺した、此度其の惡人三郎長義隣國にある由、實は其の方方へ來つて相談を致し、力を借りて彼を生捕つて、鎌倉へ連れ歸りたく思ふ、所を彼が早くも我々師弟を聞き知り、惡人五名が跡を追ひ駈けて來ると云ふのは、彼れに臥つた孫兵衛父子の話し、萬々ケ一のことがあつてはならんに依つて、其の方に相談致物、殊に日頃懇意に致して居ります　眞「此の藤太に頼んで一つやりませう　行「夫れで何うかさうして與れまいか」「委細承知致しました、先づ御緩くり」と云ふんで、夫婦の者は明日になつたら、天狗の藤太を頼まふと、其の晩は安心して祐眞、祐實、廣光の三人は臥りました、翌朝になると朝飯が濟んだ時分、孫兵衛父子が　孫「ヤア旦那樣方私等はもうれ暇致しませう　眞「アー此のほどは誠に御志ゑけなら忘れは置かん、又た折よく鎌倉へでも來られたる時は、稻村ケ崎の祐眞とれ尋ねわれよ　孫「難有たうございます、私の代は兎も角、悴が參るやうなことがありますれば、れ尋ねのう致します　眞「此れは誠に輕少であるが」と包んだ金子を夫れへ出す　孫「是れはれ貰らひ申しちやあ濟まねえが、折角でございますから」と押戴だいて父子は歸つてしまふ、そこで愈天狗の藤太の所へやつて參りましたのは祐行　祐「御免なさい」藤「アーこりやあれ入來鍛冶職の親方だ　行「實は今日は少し、れ願ひがあつて參りました

東京電報

▲漁船慘事の後報

茨城縣知事より其筋に達したる公報によれば茨城縣下漁船慘事其後搜索の結果によれば漁船發見數一死體發見二生存者十七名にて尙行衞不明の者五十二名あり（十六日）

▲外人土地所有法案

外人土地所有法案に對する政友會の意見を決定せり其內容は住所、居所、營業所、事務所を有し登記を經たる法人にのみ所有權を認むといふにあり

▲日清郵便條約實施期

二月九日を以て日清兩國政府間に捺印したる日清郵便條約は四月一日より實施すべし（同上）

歐洲電報

▲英皇帝と日英博

英國皇帝陛下には五月初旬日英博覽會を開會すべき旨仰出されたり（十七日）

紐育電報

▲鐵道工夫同盟罷工

米國シカゴ以西の鐵道工夫十五萬人同盟して罷工を企て爲めに全く交通を杜絶せり（十七日）

大連電報

▲死際惡き安重根

兇漢安重根は死刑執行を二十五日迄猶豫を乞ひ特別の允許を與へられたるに又々二十五日間の猶豫を再願せり其理由は東洋平和論を著しつゝあるも尙ほ漸く緒論を脫稿せるのみ故之を完成せんと云ふに在り又二弟に面會して死後に於ける自己の家政を懇託し且つ執行の際血に染みたる衣服は天國に行くに汚がれなればとて朝鮮服を新調し差入れ呉れよと依賴せり思ふに怯れて侶々我儘を振舞ふ死際惡き兇漢の末路哀れなり（五十日午後八時着）

別報

全道教育の狀態

京畿、江原、黄海三道の地方は一般に就學兒童を增加し公立學校は逐次私立學校に代り秩序的教育は漸次普及せんとする狀況なるも私立學校、私塾も亦次第に增加し往々學校の設立は一の虛榮的流行物視せらるゝの觀あり即ち就學兒童の數之れに伴はず基礎亦薄弱なるに拘らず輕擧開校し爾後其維持に窮し廢校の不運を見るもの少なからず江原道原州郡原豐學校は十二月中に閉校し橫城郡安興學校は將に閉校に瀕し京畿道開城には私立開城教育會の管理せる九ケの私立學校あるも其一二を除けば其基礎鞏固ならず設備亦不完全なるを以て今回會長の交代を期として學校の廢合を行ひ比較的完全なる二三校となさんとする計畫あり又京畿道南部地方に於ては公立普通學校の生徒は學費を要せざる故を以て虛榮心に富める韓人中には之れを目して貧民學校とし相當學費を要する私立學校特に耶蘇教學校に子弟を就學せしむるの傾向あり私立學校中耶蘇教學校は比較的設備善良なるも其他に在りては一般に設備不完全なり又私立學校の教育は殆んど統一を欠き其教科目の如き教科書の如き全く當局の方針に合せざるもの多し黄海道西南部地方に在りては費用の關係と儒生の說に從ひ孔孟の教を授くるを以て足れりとするものあり江原道三渉郡の鄕校の如きは大倧宗教の說に從ひ新たに孔孟の書を教ふる爲め教師三名を聘せんとし又体操科として兵式体操を教へ教練を爲し徒らに鼓躁して山野を跋渉するあり或は學校教師にして僻論に惑ひ政事を談じ之れを言動に表はすものあり黄海道平山地方の如き學校は地方有力者の勢力爭奪の具に供せらるゝ觀ありて教育の狀態頗る眞面目を缺くが如し又平安南北道に於ては山間僻陬の地に迄學校を興し教育を奬勵し地方の有志父兄は日本人教師を聘して日語其他の學科を研究せんことを希望し坊內より金を募り或は開校及の擴張を圖りつゝあるも財源に窮する狀態なれば容易に目的を達せざるもの〻如し次に耶蘇教學校は布教の活動と共に其數も漸次增加し尙ほ平壤、安州、寧邊、宣川、義州地方の耶蘇學生は常に政治に關係論議し統監政治を誤解批難する者尠なからず其內江西、寧邊地方の耶蘇生徒等は隊伍を爲し大鼓を叩き喇叭を吹奏して耶蘇教に加入を勸誘することあり寧邊に於ては合邦問題に反對する者多く一進會員の兒童は同會を脫會するにあらざれば登校を許さずと排斥し甚しきは日語教師まで放逐せりと云ふ

平南沿線の不穩

平南鐵道沿線にて平壤を距る四五里の地區太平洞附近には警察機關を欠ぎたるを奇貨として過日來數回暴徒の襲來するより同地憲兵分隊にては臨時憲兵を派遣し嚴重に警戒しつゝあるが暴徒等は猶その隙を窺ひて非行を逞ふし頗る物騷なる狀態にあるが十四日夜十九時三十分頃各自銃器その他の兇器を携へたる六名の暴徒或は强盜が襲來し地點を距てゝ韓人家屋三四個所に突入しその內一名を刺し重傷を負はしめ各家より少からざる金品を掠奪し去りたる趣きなるが彼等は當地より江西に通ずる所より來り同夜十一時頃龍山面置山の北方へ向け逃走したる形跡あり聞く所によれば右は當地附近の者にてはなく或は目下其の筋に於て物色しつゝある容易ならざる犯人ならむと云ふ

●韓民聖書を燒棄す

咸鏡北道明川郡各面にては莫饒なる共有財產あり郡守は之を教育費に充用する旨を命じたるに面民一同は納稅の義務を免れんが爲め基督教に籍を置く者續出し一時非常なる勢力を致せり殊に鏡城郡一圓の韓民は基督教を信ずる事によつて全然統監政治の羈束より脫却し自然納稅の義務も消滅するものと確信し昨年來信者となるもの極めて多かりしが官憲よりの徵稅に應せざるのみならず巡查に暴行を加へたる廉により四十餘名其筋へ引致せられ搗て加へて稅金を徵發せられたれば彼等は始めて爰に基督教と納稅と何等の關繫なきを悟り脫會するもの續出し今や教會は寂寞として一人の來つて教義を聽く者あらざるより城津なる耶蘇教本會にては宣教師を特派し傳導布教に傾心しつゝあれど何等の功果なく新鄕洞の韓民は支會の庭前にて聖書を燒棄したりと

●外國貿易上半月報

關稅局調查三月上半月の貿易左の如し

區別		本月上半月分	一月以降累計
輸出品價	內國產	五六七、一八〇	三、二五八、二〇八
	外國產	二九、一四三	一〇四、〇三四
	計	五九六、三三三	三、三六二、二八二
輸入品價	外國產	一、四〇六、四一八	五、三五八、三一七
	內國產	一五	七五
	計	一、四〇六、四三三	五、三五九、〇九二
輸入超過		八一〇、一〇〇	一、九九六、八一〇
通過貨物價額		八、三二六	三二、二三三

本年貿易額港別左の如し

本月上半月分

港別	輸出額 圓	輸入額 圓	計 圓
仁川	一〇三、九一三	六〇三、四六七	七〇六、三八〇
釜山	二二六、九一五	三五一、七一〇	五七八、六二五
元山	三二、九二五	一二九、四九六	一六二、四二一
鎭南浦	—	五七二	五七二
京城	五、一九六	一二五、七二九	一三〇、九二五
群山	一〇四、五六三	三三、〇八六	一三七、六六九
木浦	五六、六九二	三四、三五〇	九一、〇四二
馬山浦	一一、九三三	二二、四五八	二四、三九一
清津	一、〇四五	二〇、〇八八	二五、一三三
城津	二、六五六	二二、四〇六	二四、〇六二
新義州	四一、六一三	二七、七五六	六九、三六九
平壤	八五二	五一、三一五	五二、一六七
計	五九六、三三一	一、四〇六、四三三	二、〇〇三、七六六

●土地權利設定弊害

韓國には未だ土地臺帳の設備を有せざるにより土地に對する權利の設定は便宜上證明法により取扱ひ來りしが昨年十一月法權委任以來裁判所に於て同權利の設定は登記法によりて處理さるゝ事となりし結果其間自から同物件に對し二種の設立機關を有する姿となりしのみならず是等設定の機關たる理事廳及裁判所の間に於ては未だ何等打合等の聯絡なく甲の認定せし權利は乙機關に於て非認する等の奇觀を生じ爲に一般人民の迷惑は固より奸譎の徒は巧に此間に投じて猾策を弄する等弊害百出底止する處を知らざるが是に對し當局は大に悟る處あり目下是等弊害の防遏策に付き頗る苦心し居れりとの事なるが一般に於ても一日も速に是等規正の實施せられん事を望むや切なりと

●典當舖の取締規則

韓國の典當舖の許否に就ては各般の營業と共に農商工部の所管に屬せしが右は產業發展の主旨より當時斯く規定せしも元來典當業は警察的取締に屬するを以て內部所管に移すを便利とし其後內部に於て之が團束規則を制定せんとて目下審議中なり而して從來は全國一般の斯業者に對し農商工部より直接許否を指令し來りたるも斯くては啻に煩累に堪へざるのみならず實際上調查困難なるを以て今後は各道に於て取扱はしむべく尙は質權に關する韓人の觀念は必ずしも法理と相容れざるものあるを以て可成舊慣を參酌して制定すべしと

●御渡韓紀念寫眞帖

隆熙元年十月皇太子殿下韓國へ行啓の際教育獎勵費として金八千圓御下賜相成りたるより學部當局者は之れを教育基金としその利子にて年々學術優等生に褒賞金を下附し來れるが四月の卒業生に授與すべき賞品は日韓間の風俗、著名の景色等を編入せる紀念寫眞帖にして既に美麗に調製を終れりと云ふ

●學部次官と五學會

各道に於ける私立普通學校は寄附金取締規則等の爲經營極めて困難となり今や自滅の外なきに至り五學會代表者より學部大臣に宛て之が善後策に關し請願書を提出したる事既報の如くなるが十六日五學會代表者は學部に出頭し次官と最後の會見を遂げたり之に對する學部次官の回答は一兩日中發表すべし

●新義州開廳式盛況

去る六日擧行せられたる新義州開廳式に臨場したる中野警務課長は十五日歸任したるが開廳當日は式場に紅白の幔幕をめぐらし綠門を飾り紀念スタンプを押捺せる同地名勝繪葉書を參會者に分布し餘興として藝妓の手踊、芝居狂言、煙竹等あり日韓官民の來會するもの五百名に上り極めて盛況なりしと

●共進會費目の增額

農商工部にては曩きに福岡、名古屋兩共進會出品費として本年度臨時部豫算に九千五百十九圓を計上せしが當初の計畫に對し著しく膨脹を來たしたる爲め豫算に不足を生じ更に二千三百圓を增額する事となし右は他の費目より流用すべく目下之が協議中なりと云ふ

●順川暴動犯人起訴

順川暴動事件の重なる犯人は既記の如く其後平壤監獄署に收容し同地方裁判所柿原檢事主として之が調查審問に從事し先日既に其大体を了したるを以て其後は書類に就き調查中なりしが其結果其內數名に對し愈十四日起訴したり

●金銀類の輸出入額

三月上半月の輸出入金銀貨及地金如左

本月上半月分

區別	輸出 圓	輸入 圓
金貨及金地金	三四〇、一六八	一五〇、四四二
銀貨及銀地金	一四、八四四	一
金銀以外の硬貨	一〇、〇二〇	—
計	三六八、九九二	一五〇、四四三

●上半月の船舶出入

三月上半月韓國諸港出入船舶左の如し

本月上半月分

種別	入港 隻	入港 屯	出港 隻	出港 屯
汽船	二一八	八九、二六五	二一七	九一、三五九
帆船	一一六	九九九	二八	一、七六六
ジャンク	三五	三三六	四八	八七七
計	[illegible]	九〇、五三二	[illegible]	九三、九三三

●地方費支撥の方法

地方費の支撥金送金方法に關しては從來何等の規定なかりし爲め其の方法一定せざりしが今回度支部內部協定の結果農工銀行より各地銀行へ最低率の手數料にて之を取扱ふ事となりたる由

●地方制度調查員會

十七日午前十一時より統監府にて地方制度調查委員會を開き石塚長官、木內、松井、兩參與官、澤田地方局長、鈴木次官代理、三浦理事官等列席せり

●取引所の晚餐會

京城取引所創立委員會は十八日午後六時半より新聞記者等を京城ホテルに招待し晚餐會を開く

漢城政界の春色

春寒尙は料峭たるも心地自ら陽氣を覺わ漢城政界も何となく色めき始め內思ふに韓國問題目下の中心地は迥かに東京に在るが扨て議會も漸く閉會期近づき是より方さに實行期に入らんとし統監爾子の歸任期も向ふ二三週の裡に在る爲め各政客は頻りに東奔西走秘議を凝らしつゝあり此間の消息を窺ふに唯だ徒らに統監の齎らす經綸何者なるかを付度し懊惱するのみにて何等纏まりたる行動を爲し得ざるが如く謂はゞ寸前闇黑界に盲動を極め居るのみなり尙は適切に彼等政客の意中を剔抉すれば早く統監の顏を見たいが見るのは恐わし恰かも死刑執行期迫れる兇漢安重根が能く這般の現狀を說明して餘りあり彼が平素の傲語にも似ず執行の猶豫又猶豫を乞ひ一日も生き存がらへんとする剛膽は則ち日韓最後の解決を眼前に控へ居る韓政客の意中を描出したるものなり事大思想は韓人特有の先天性にして彼の何派何會杯と呼稱し政黨風を吹かし居る輩の如き皆是れ御天氣主義の御都合黨にして斷じて行へば鼠の猫に於けるが如けんのみ現に或る派の如き政黨旗を翻へさんとせるも吾が對韓方針の如何に出で何るべきかに迷ひ容易に決し能はざる如き是亦事大思想の結果なり此際面白き現象は日本より二箇反對思想の移入是なり則ち一は解決遠しを說き一は解決近きにあるを傳ふ此混ぜ返へしは一層漢城政界に光彩を添ねつゝあり元來不秩序混沌たる處が漢城政界の妙味にして即ち名もなき野草の咲き亂れたるが如き光景が所謂漢城の春の色なり種々雜多なる野望が此處彼處に既に芽を萠ざし統監歸任の頃に到らば又盛んに咲き亂れて定めて見事なるべし

●韓國品と米國關稅

米國に輸入さるゝ本邦品は客月十二日附米國大統領布告により本月三十一日より最低稅率を適用せらるゝ事となりしに就き同國國務省に於ては韓國品に對しても同稅率を適用する計畫にて既に右に關する布告發布方大統領に申立たる旨本月二日を以て該國務省より同國駐在帝國大使に通知せし由今般本國外務省より其筋統監府に通牒ありたり

●平南線と水陸貨物

近く敷設を了すべき平南線の開通後は同地の經濟狀態に一大變動を生ずべき事は一般の認識する所なるが右に就き京義線に據るべき重要輸入貨物の取扱額の狀況を豫想するに結氷期間を除く外は從來同鐵道便に據り平壤其他附近へ至りたるものは時間其の他に於る特別の必要を感ずるものゝ外は費用と便宜との關係より其多くは勢ひ水路鎭南浦を經由する事となり隨て右の點に關し水陸輸送上の競爭に於て水運の勢力を增大する理由なるが右は貨物輸送に關する根本義として水運に據る方の適したるものなれば到底止むを得ざるべしされど一般に於ける交通機關の發達は自ら全部を發展せしむるの理よりしてその收益をも增加するに至るべく加之今後漸次沿線附近各內地の發展は自然鐵道に對する貨物の取扱額をも增加するに至るべしと云ふ

●米豆最近の價額表

度支部調查に係る最近各地米豆一石に對する價格は左の如し

地名	上籾 錢	上玄米 錢	大豆 錢
仁川	二、八五	七、七二	六、〇〇
江景	三、二五	七、六〇	七、〇〇
群山	三、八五	七、八〇	六、〇〇
木浦	四、一〇	八、〇〇	七、三〇
馬山浦	四、六〇	七、九〇	六、四〇
密陽	三、九〇	七、一〇	四、六〇
海州	二、八〇	七、五〇	五、三〇
鎭南浦	三、二〇	七、六〇	五、二〇
龍岩浦	四、五〇	九、〇〇	
平均	三、八〇	七、七六	

●民會委員會の模樣

京城民會委員會は十六日午後六時より民團樓上に開かれ委員七名全部集合して先づ中村再造氏を委員長に擧げ夫れより議出豫算の調查を開始せり民團よりは古城民長林田助役出席し委員の質問に對し詳細說明を與へ第一款役所費全部を議決し無事散會せるが昨十七日も午後六時より又た再會したる筈

●村井農場紛擾解決

馬山線鎭永、村井農場對農夫間に紛擾起りし事は既報したる如くなるが其後農場側にては農民の主張の正當なるを諒とし將來耕作地に自然的損害を蒙りたる場合は相當に農場にて處理すべき契約書を提供し農夫一同も安堵し愈圓滿解決を告ぐるに至りたりしといふ

●徵稅簿の裁判所行

京城民團醜吏の犯行に對する調查は十三日中に終了すべき由なるが一方地方裁判所に於ける取調も漸く進行しつゝありて徵稅臺帳全部の提供を求め來り民團にては十七日之を送付せりと

●興業撤廢と袂別宴

興業銀行支店は愈々十五日を以て閉鎖せる爲め同支店支配人高橋渠三氏は東拓韓銀の各重役民間の重立つ人々及新聞記者並に特派員を十六日午後六時より花月樓に招待し袂別宴を開けり

●京城會議所の總會

京城商業會議所にては定款改正及び四十三年度に於ける豫算を審議する爲め來る二十三日總會を開くべしと云ふ

●宇佐川總裁の歸期

宇佐川東拓總裁は十六日出發の筈なりしが何未了の用件あり數日間延期すと

●竹內書記官歸任

慶尙北道書記官竹內氏は豫て歸省中の處此程歸任し閒田警察部長、內務部長事務取扱を解る

●五百木氏の入京

對韓同志會の同氏は十六日夜入京京城ホテルに投宿

●山形分隊長歸任

江原道管下巡視中なりし山形分隊長は十七日歸隊せり

●鈴木軍醫の入京

海軍々醫中監鈴木諦三氏は十六日入城浦尾旅館に投宿

●谷金融理事入京

伊川金融組合理事谷快馨氏は十六日入京山本旅館投宿

●友永染織氏入京

內部釜山出張所技師の氏は七七日入京浦尾旅館に投宿

●佐伯理事の入京

春川金融組合理事の同氏は十六日入京原旅館に投宿

●金谷三男氏入京

天安憲兵隊附二等軍醫の氏は十六日入京旭旅館に投宿

●戶田忠正氏歸任

滯在中なりし平壤區裁判所判事の氏は十七日歸任せり

●西裁判長の歸任

滯在中なりし平壤地方裁判所長の氏は十六日出發歸任

●柳原裁判長歸任

滯在中なりし淸州地方裁判所長の氏は十六日出發歸任

●遠藤技師の歸任

度支部建築所釜山出張所長の氏は十六日出發歸任せり

龍山通信（十七日 支局發）

▲上京中なりし軍經理部主計正は十六日歸任せり▲[illegible]大尉は十七日午後歸山[illegible]守備隊を視察し釜山に出[illegible]山騎兵豐の到着を待ち[illegible]龍の豫定△滿洲に出[illegible]明石少將は十六日公主[illegible]ふ旨其筋に電報あり[illegible]の爲め來龍中なりし[illegible]郎氏は用務を了へて[illegible]分龍山發羅南へ歸任[illegible]事實は昨十七日來龍[illegible]係る龍山溪町河岸埋[illegible]既報の如く京城水道[illegible]を敷設すべく目下青[illegible]設し居れるが聞く處[illegible]圍道路と稱する鐵道[illegible]には既に水道敷設の[illegible]れば元町通及新市街[illegible]す水道上水を飲用す[illegible]說き前日水道會社員[illegible]何で御座る式の照合[illegible]何とか都合好く折合[illegible]

大隈伯の外遊說

右は筆者病氣に付[illegible]

[illegible]へ受けざるに一度[illegible]期の一日も長から[illegible]の惡き事ろ憐れむ[illegible]雪漸く消へ春色將[illegible]に當り、統監府地[illegible]曜を以て碧蹄館に[illegible]に席を設け廣田文[illegible]うだ、吾人は斯か[illegible]を望むものである[illegible]外遊說は伯の人物[illegible]だけ多くの注意を[illegible]にや日々種々なる[illegible]來る、伯外遊の大[illegible]記者の筆に現はれ[illegible]諸君と共に先づ[illegible]

▲治外法權▼

米輸入增稅は政友會[illegible]に於ても通過に極ま[illegible]友會の修正せし案を[illegible]十六錢との事である[illegible]本の桝に直すと一升[illegible]る、されば一升の米[illegible]るゝ道理だ▲政友會[illegible]農民の歡心を買ふ[illegible]案を作り出した、[illegible]民は己れの作りし米[illegible]ふ事を▲伊藤公の刺[illegible]宣告をされたにも[illegible]既に二回の死刑延期[illegible]至つて大膽に三文にも[illegible]も其價値に[illegible]れが日本人であつた[illegible]

妖婦柳巻れ銀 (四)

満韓臺灣は元より米本國を荒せし女

[illegible]

鐵砲傷

[illegible]

決鬪

[illegible]

迷惑

[illegible]

刹那

[illegible]

小女郎

[illegible]

眞額に一文字

[illegible]

圖太き膽玉

[illegible]

柳巻れ銀の色仕掛

[illegible] 暮しに一年餘り過せし四十一年の牢 [illegible] 嚴重となり鬼蠶 [illegible] 追つ拂ひを喰は [illegible] 見切り頃と其年の秋香港を棄て一對岸の臺灣島へと渡りける。

行方不明者千七百名

▼銚子沖と日向灘

去る十二日の内地烈風に就ては既報の如くなるが今内務省より我が内務省への報告左の如し ▲銚子沖に於て漁船八十四艘乘組漁夫千百餘名今に行方不明なり右につき捜 [illegible] 府司令長官に向け [illegible] 求し一面縣有石油 [illegible] 派出し之が搜索に [illegible] 注意監視せしめ置 [illegible] 爲め内務部長及赤 [illegible] 銚子に派遣し救護 [illegible] の救護準備整ふ唯 [illegible] は縣下のもの五艘、同縣下浪速村に一艘あり目下沿岸 [illegible] 湊町平磯町漁船約三百名十二 [illegible] 明となる▲宮崎縣 [illegible] 船二十一艘、乘組 [illegible] 十二日夜暴風にて [illegible] 紀州近海に漂流 [illegible] 記中なり

言語同斷の醉漢

▽巡査の帶劍を拔いて
▽群衆中を振り廻はす

言語同斷の暴行を恣にしたるのみならず警官を傷けたる近頃珍らしき亂暴漢あり [illegible] の午後十時四十分 [illegible] 本公園下の露店 [illegible] 名の醉漢亂暴を働 [illegible] 同人より宮町巡査 [illegible] は木内巡査は時を [illegible] して醉漢を一先づ [illegible] 取調べたるに生れ [illegible] 仁川在港の警羅船乘組機關士樋渡靜(三〇)と云へる [illegible] したる模樣にて呂 [illegible] なるより同所內に [illegible] を待ちつゝありし [illegible] りたるものか矢庭 [illegible] 圓もあらせず木内巡査の**帶劍**手近に掛けありたるをば手早く奪ひ取るが否や三尺有餘の秋水ヒ大上段に**振り翳**して寄らば切らんの身構へなしたるにぞさしもの巡査も之には閉口して眼を丸め躊躇逡巡狼狽し居るを見し件の醉漢はエイヤの掛聲と諸共に卓子に切り附け返す刀にて北手の硝子を切り破り暴行を働きたるものから附近の人々さては通行く人等は何事の起りしぞやと派出所前は忽ち人山を築きたり然るに醉漢は尚をも暴行を止めず今度は派出所外に飛び出で黒山を築ける群集に向ひて大音聲に呼ばはる樣我に近寄る者あらば片端しより切り殺して終はんと劍をば**縱橫に振り廻**しつゝ群集を追ひ廻る亂暴狼藉の樣は何とも彼ん共云ひ樣なかりしが漸く公園地通りを一直線に宮町二丁目一六號賣所前にて木内巡査及吉田巡査協力して同人を取押へ本署に引致して取調中なりと云ふが其際に木内巡査は拇指外數箇所に負傷したり

放駒問題の解決

▽愈々歸坂と解決す

放駒問題は東京方の新仲裁者たる山田等三人と常陸山會の三宅、佐藤兩氏が一昨夜八時頃勇山方の代表者の吉田磯吉と會見し吉田の提案たる三條件につき協議したるに第一條件たる三千圓を常陸山會より朝日山に返金する事は果してこの金を朝日山が受取るや否や、恐らく朝日山として之を受取る事能はざるべし、又朝日山がこの金を受取るとすれば常陸山が關西地方に於ける人氣にも影響するは必定なればこの金は渡す事は出來ぬと答へたるに吉田は金さへ貰へば朝日山をして受取らしむべしとの事なりしも東京にては常陸山會として常陸山の体を庇護する立場から三千圓を出す事は不可能なりかたがた放駒を引取る事は止めにせんと吉田を別室に遠慮せしめて協議の結果前日吉田より提出したる條件第三條の東西兩協會の確執が解くるまで放を返すと云ふ方法を採用し條件なしに放を大阪に歸して一切の責任を吉田に任せ放が大坂相撲として顔が立つやうに吉田が取計ひ若し放の決心固くして廢業せし時には常陸の所に入ることゝし費用は一切常陸山會にて負擔することに決議せしに吉田も贊同し十三日夜十二時解決を告げたり

北面長殺害せらる

▽目的は金品奪取にあり

昨十七日其の筋への報道によれば十三日午後一時頃京畿道永平郡北面下屈里同面長朴行陽は村民の爲めに殺害せられたりとの報に接し直ちに所管憲兵は警察官と協力して前記地に出張し取調べ見るに其の狀況左の如し

北面々長朴行陽(四五)は即死妻李氏(四三)は重傷二女卯音(八つ)は重傷加害者は朴復陽外四名にして殺害の目的は金品を奪取せんが爲めなりと主謀者朴復陽は朴行陽と親族にして昔て陽州郡内を横行せる暴徒黄順日の許に入り部下たらん事を希ひしも遂に其の目的を果さずして歸郷し農業に從事し居たる惡漢なりしが他の四名は從來生業に就き別に惡事を爲したる事なきものなり以上の如く主謀者の親族朴を始め四名は當に私慾の爲にわらずして殺害者に於て職務上面内より徴收したる稅金を所持し居る事を知り四名と語らい豫め之れが奪取の方法を講じ十三日午前一時頃北面役所に至り面長朴に迫りて金若干を奪ひ更に面長朴の自宅に到りて家族を毆打して金圓を強奪し其の目的を達したる後再び面役所に來りて罪跡を掩はん爲盜に面長を殺害せり云々

●喜多流素謠會 三月二十日(日曜日)午後正一時より旭町三丁目開遠亭に於て開會の筈なるが會費五十錢にて當日の番組左の如し

嵐山	(岡氏)	城氏	江口氏
八島	上田氏	則近氏	横山氏
羽衣	鵜崎夫人	道家夫人	
藤渡	岩崎氏	吉野氏	
黒塚	鵜崎氏	伊藤氏	道家氏
鞍馬天狗	宮川水	藤村氏	末永氏

●韓人の材木泥棒 寄坡居朴春化(三十)といふ横着ヨボは十六日午後五時頃龍山元町四錦綿材木店の倉庫より鑄材一本價五圓のものを竊取して擔ぎ出さんとする處を家人に見つけられ附近に住へる巡査に押へられて警察へ突出さる

●科料頂戴 新町井門支店の雇人姉谷作造(二六)と云ふは去る十四日午後七時頃同所の道路にて自轉車練習中の處をれ廻りさんに見付られて告發昨日三十錢の科料申付らる

●金一圓の拾得 十七日朝龍山停車場待合に於て構内居住吉武實吉長女たつ金一圓を拾得し其筋へ屆出でたり

●書畫古道具大競賣 本町近藤骨董舖札元にて來る三月二十日壽町の日本人商業會議所樓上にて書畫古道具類數千點の大競賣をなす由なるが其中には某家愛藏品の書畫珍品多數を占め尚續々出品依賴者ある由なれば當日は非常の盛況を見ることであるべし

●本願寺の彼岸會 南山本願寺別院に於ては例年の通り今十八日より二十四日まで彼岸會執行さるゝ由にて讀經說教時間は午前七時、午後二時、同七時半の三回なりと

●韓娼妓の檢梅 此程警視廳管内の韓人娼妓に就き檢梅を行ひたる處受檢者百七十一の内十名は有毒者と判明直ちに驅梅院に入院せしめたるが尚七十一名は檢梅當日ヅルを構へて不參し之等は大に怪しき奴共なれば注意を要すべきなり

●理髮業者の健診 理髮業組合協議により昨十七日南部署にては山本警醫に囑托し本願寺別院に於て組合員の健康診斷を行へりと

●府員家族娯樂會 明十八日午後七時より統監府職員家族娯樂會は同府大食堂に於て幻燈及活動寫眞會を開催し尚餘興として講談、落語、義太夫、琵琶等あるよし定めて盛會なるべし

●一昨日の新町 同廓一昨日の登樓客は八十一名にして消費金高は四百二十四圓〇六錢なり

目と耳

▲壽座 同座曾我の家寶劇本晩の替狂言は左の如くなるが分て五番目勸進帳は同一座の十八種の內の一つと云へば乾度頤ひ落さすべし

第一番目	御祝儀花之山	一場
第二番目	金廻し	四場
第三番目	廓の迷引	四場
第四番目	死神	四場
第五番目	勸進帳	

▲京城座 同座本晩の番組は『孝不孝兄殺し』の通しにて其の配役は紳士中島(伊井)書生石川(花井)巡査早見(千葉)村長津々見(川﨑)藝者おふじ(金澤)清水三郎(桂木)遊人銀二(田中)清水太郎(高山)遊人金次(高島)錄三(上田)刑事山形(湖)書生山本(八島)子分(光田)清水母(三好)酒水次郎(みさき)公證人若村(瀬川)

●京城禁酒會 十八日午後七時より名古屋城に於て左の講演ある筈
人類の系統發達と個体發達に於ける酒の害 山口照平
飲酒家に勸告す 橋本金太郎

●模範巡查死去 明治十三年以來十年一日の如く勤續精勵東京警視廳に奉職し渡韓後も忠實勤勉を以て模範巡查の名ありし南部署詰巡查伊集院登岐氏は過日來より重病大韓醫院へ入院中の處一昨日午後四時死去ありしより南部署員一同は昨日の葬儀に吊旗造花等を贈りて會葬せりと

平民文庫

▲本日の當欄劈頭に罷り出づるは例の馴染みの太平町二葉亭の間著である ▲十三日の夜釜山よりの上り列車の三等車より異實の美人を携へて南大門驛のプラットホームに降り立つた男がある此れが即ち二葉亭の亭主である而して其の伴れて來た美人は同人の日本に於て養女として貰ひ受けて來たものである▲ト丈けなら何んの變哲もないのだが彼の裏がある▲二葉亭の亭主が彼を養女として貰つて來たのは表面で實は此方で淫賣さして現にある二千四五百圓の貯金を一萬兩にも二萬兩にも爲樣と云ふ魂膽▲其の魂膽を誰れ知るまいと思ひの外肝腎要めの當人に知られて居るのだから堪らない向ふが其の手で來るのなら此方は此の手で行くべしと日本內地に居る間は卯から猫の皮を引き冠つて云ふなり次第になつて居たのでれ人好しの御亭殿存外好い兒を貰い當てた此れも日頃信心する猫又樣のれ授けと喜んだのはホンノ束の間で當地へ着いてからと云ふものは妾は此家の娘だから客の座敷なぞへは出ません妾はた父つあんやたつかさんの死水を取りに來たので男の生水を拔きには來ぬと冠つて居た猫の皮をスッポリ脱いで居直つたので亭主野郎盛んに後悔の出臍を噬つて口惜しがつて居る相だ(鳳閣子)▲貴新聞に『妖婦松田きよ』と題して手酷く素破拔かれた近藤書長ム彼れ程馬鹿にされ乍ら未だ思ひ切れず新聞社の人の云ふ事な矛當てになるものか併し世間の口が五月蠅からどあつて明治町の日の丸と云ふ下宿屋に囲つて置いたがモウ宜い時分と又々官舍に引つ張り込んだ僕の考へでは馬鹿の行き止りは此の邊だらうと思ふが先生の馬鹿は拔け裏らしいから行き止りがないらしい(八重子)▲新町消月樓のいろははは大變れ世辭が宜くなつたと誰れやらの立話し(又聞生)▲京城區裁判所の受付口に居る奴程不親切なのは鮮い出頭する人民は悉く刑事被告人の樣に待遇する監督官は注意せられたい(不平子)▲少し足りないのだから我慢して行つて下さい物を知らないんだから云はゞ白痴も同樣なんだから拔作なんだから(小僧)

吉凶觀

本町五丁目 三一館判斷

三月十八日舊二月七日四綠友引壬午 平彼岸△一白 治金鑛山の業に吉萬藤訴訟の端を惹起す勿れ△二黑 妄言に罹り易し尚取引交際貸借に注意すべし△三碧 轉居更改の事効なし音信異事を齎らすあらん△四綠 業務上組織變際上齟突起り易し新事凶△五黃 精算決算上に紛爭起らん尚盜害紛失注意すべし△六白 新事見合せの事旅行凶盜害の虞れあり△七赤 頹勢の日とす紛亂酒色の害を愼しむべし新事及更改の事凶△八白 暴言又は要求にあふあらん尚長上より叱責若くは戒飭にあふあらん△九紫 利益を得又は勢力增進の日とす投機的射倖的行爲勿論し

●天氣豫報 (自十七日午後六時至十八日午後六時)
晴れ
十六日(華氏) 最高溫度 四一、九 最低溫度 二九、八